

## 池河内湿原の概要

池河内湿原は、福井県敦賀市内を流れる筧ノ川の源流部にあたり、周囲を低山によって囲まれた凹地に形成される低層湿原です。

湿原の大部分は主にハンノキの湿生林となっていますが、中央部は、極端にハンノキが倭性化し草原状となって、ミズゴケが繁茂し、その一部が高層湿原状となっています。ここには、多様な湿生植物の群落が形成され、今や希少種となっている植物が多く生育しています。

また、豊富な昆虫相が見られ、さらに、鳥類の繁殖、休憩地としてよい生息環境となっているなど、貴重な自然環境となっていることから、集水域を含めた約 111ha の地域が県自然環境保全地域に指定されています。

## 自然再生作業の実施について

池河内湿原には狭い範囲に、湿地、河川、雑木林等があります。

自然再生作業では、3班に分かれ、湿地、河川、雑木林それぞれのフィールドの自然再生を2日間でローテーションしながら実施します。

	プログラム	A班	B班	C班
10月3日 PM	自然再生作業①	湿地の自然再生	河川の自然再生	雑木林の自然再生
	自然再生作業②	河川の自然再生	雑木林の自然再生	湿地の自然再生
10月4日 AM	自然再生作業③	雑木林の自然再生	湿地の自然再生	河川の自然再生

各フィールドとも、調査と作業をセットにしたメニューで実施します。

### 湿地の自然再生

- 調査 : 湿地の希少生物
- 作業 : 湿地の草刈、ハンノキの伐採・抜根
- 使用機器 : チェーンソー、草刈機、耕運機

### 河川の自然再生

- 調査 : 水棲生物調査 (主に昆虫)
- 作業 : 堆積した土砂の除去、崩れた川岸の修復
- 使用機器 : 草刈機、クワ、スコップ、(ユンボ)、水アミ、バケツ

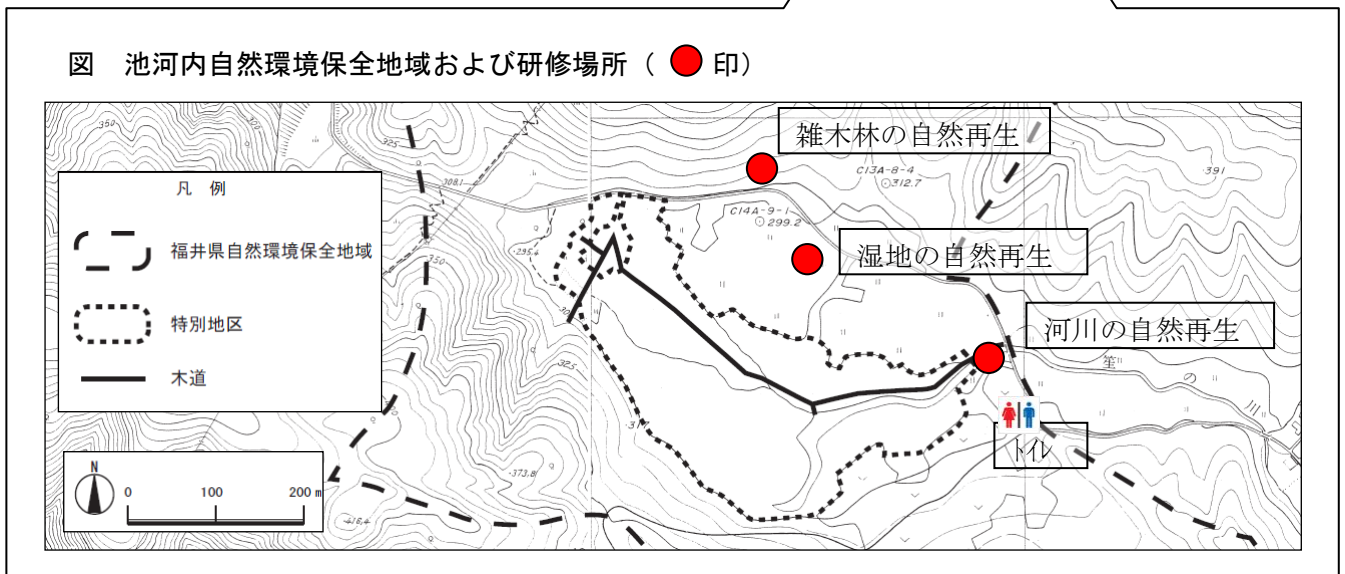
### 雑木林の自然再生

- 調査 : 雑木林の植生調査
- 作業 : 雑木林の選択的な伐採、下層植生の修復
- 使用機器 : チェーンソー、ノコギリ鎌、ノコギリ、せん定ハサミ

## 位置図



図 池河内自然環境保全地域および研修場所（●印）



※池河内湿原では携帯電話での通話が出来ません（電波が届きません）ので、あらかじめご了承ください。

※研修当日はレンタルの衛星携帯電話を備え付けますので、連絡が必要な場合には里山里海湖研究所までお問合せください。（通話料は割高ですので直接おかけになる場合はご注意ください。）